

令和6年1月10日

韓国語スピーチコンテストで本学学生が奨励賞を受賞

令和5年12月9日（土）に東京で行われた韓国語スピーチコンテスト「話してみよう韓国語」東京・学生／一般大会2023のスキット部門の本選大会に本学の人間発達文化学類3年生の真壁萌さんと2年生の伊瀬谷瞳子さんのペアが出場し、奨励賞を受賞しました。

令和5年12月9日（土）に東京の韓国文化院ハンマダンホールで開催された「話してみよう韓国語」東京・学生／一般大会2023（（主催：駐日韓国大使館 韓国文化院・専門学校神田外語学院、共催：駐日韓国文化院世宗学堂）の一般スキット部門に本学の人間発達文化学類3年生の真壁萌さんと2年生の伊瀬谷瞳子さんのペアが出場しました。

一般スキット部門は、2人1組で3分以内の韓国語のスキット（台本）を創作し、舞台上でそれを演じて発音の正確さ表現力などを競います。今年は“韓国の引っ越しパーティ”がスキットのテーマでした。2023年度大会は一般スキット部門の応募数が首都圏の大学生を中心に24組48名と、例年に比べてやや多い応募がありました。真壁さん・伊瀬谷さんペアを含む12組が11月に行われた音声データによる予選審査を通過して本選大会にコマを進めました。本学からの出場は6回目となります。

現在、伊藤俊介教授が担当する授業（韓国朝鮮語応用クラス）を受講している真壁さんと伊瀬谷さんは、本選大会に向けて練習を重ね、本番ではその成果を十二分に発揮し、堂々とした演技を舞台の上で見せてくれました。2人で作り上げたユーモアたっぷりの台本の演技に開場から笑いが起こり、演技終了後には観覧客の方から「とても楽しかった」などの称賛の言葉もいただきました。

そして審査の結果、真壁さん・伊瀬谷さんペアは奨励賞（3位）を受賞しました。

（お問い合わせ先）

経済経営学類・教授 伊藤 俊介

電話：024-548-8414

メール：e132@ipc.fukushima-u.ac.jp

「話してみよう韓国語」東京・学生/一般大会

2023

《日時》 2023年12月9日(土) 13:00~

《会場》 韓国文化院 ハンマダンホール

《主催》 駐日韓国大使館 韓国文化院・専門学校神田外語学院

《共催》 駐日韓国文化院 世宗学堂



駐日韓国文化院
Korean Cultural Center in Japan



神田外語学院

<開催趣旨> ～ 韓国語の表現力コンテスト ～

韓国語学習を支えている初中級の学習者を対象に、学習者と指導者、友だちや家族のみなさんが韓国語を学ぶ楽しさを感じられたら…そんな催しをめざして、2003年に『話してみよう韓国語』は東京と大阪で誕生し、「日韓友情年 2005」を契機に、今では全国7都市でそれぞれ地域の特色を生かした大会を開催するまでになりました。

東京大会は『中高生大会』と『学生/一般大会』に分けて開催しています。本日の『学生/一般大会』は『一般スキット部門』と『スピーチ部門』の二部門での開催となりました。

この大会が全国の韓国語学習者の励みとなり、韓国語学習者のすそ野が広がることを期待しています。

2023年12月9日

駐日韓国大使館 韓国文化院

<審査員>

五十嵐孔一（イカラシ コウイチ）：東京外国語大学 教授（審査委員長）
黄善英（ファン ソニョン）：東京都立大学 特任教授
林世涓（イム セヨン）：神田外語学院 専任講師

<表彰>

『最優秀賞』各部門1グループ（名）ずつ：賞状、旅行券（5万円分）

『優秀賞』各部門1グループ（名）ずつ：賞状、Bluetooth イヤホン

『奨励賞』各部門1グループ（名）ずつ：賞状、韓国語学習書

『審査員特別賞』各部門1グループ（名）：賞状、韓国語学習書

『努力賞』上記入賞者以外の参加者：クオカード 3千円分

<出場部門と参加資格>

すべての部門に共通する事項

(下記資格 + 各部門の参加資格をご覧ください)

1. 韓国語を母語としない中学生以上の者を対象とする。国籍は問わない。
2. 応募時から過去 1 年以内に他の韓国語スピーチコンテストの本選で最上位に入賞していないこと。

※本大会は「外国語としての韓国語」を学ぶ人のための大会です。韓国語を使って日常的に意思疎通をされている方のご応募はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

一般スキット部門

初級学習者対象、2 人 1 組で参加する部門。

制限時間 3 分。指定の台本を暗記し、2 人 1 組で韓国語の発音や表現力等を競います。本文自体を変えることはできません。但し、語尾を変えたり文章を一部追加したりすることが出来ます。(本文全体の 3 分の 1 程度まで) 服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回りの品程度とします。

《参加資格》

1. 韓国語を母語としない者。
2. 学生は日本国内の学校に在籍していること。
3. 韓国、あるいは韓国語を常用する地域等における生活経験が合算して 1 年以内の者。

《審査基準》※ () 内の数字は 100 点満点での配点

- ①発音 (50 点) : 正確さ、イントネーション、聞き取りやすさなど
- ②総合表現力(40 点) : 話す速度、強弱、身振り手振り、感情表現、アドリブなどの表現力
- ③暗唱 (10 点) : 原稿を見ないで発表しているか

<一般スキット部門 台本>

◆テーマ: 引っ越し祝い

A : 日本人留学生 B : 韓国人学生

- A: おはよう! いらっしゃい! 来るのに苦労したよね?
- B: いや、地下鉄駅から近くて大変じゃなかったよ。
- A: よかった! 道に迷うのではないかと心配したんだ。
- B: じゃじゃん! 引っ越し祝いのプレゼント! さあ、受け取って。
- A: ありがとう~ 韓国は引っ越し祝いのプレゼントにティッシュをくれると聞いたけど本当だったんだ!
- B: うん。プレゼントするのは日本と似ているんだけど、韓国では引っ越し祝いにティッシュとか洗剤をよくプレゼントするよ。
- A: そうなんだ。。ちょうど必要だったからよかった~
- B: 役に立ててよかった!
- A: ところでお腹すいてない? 早くご飯食べよう~
- B: わぁ! これを全部 (A の名前) が作ったの? 本当にすごいね!
- A: 私、料理が上手いんだよ。
- B: 本当においしい! 今まで食べた (料理の名前) の中で一番おいしい! これ秘訣は何?
- A: 実は... (B の名前) が遊びに来るから数日前からずっと練習してたんだ。
- B: 引っ越し祝い二回したら大変なことになるね~
- A: からかわないで~ でもおいしいと言ってくれて嬉しい。たくさん食べて。

(食事後)

B: もうご飯も食べ終わったし、今から何しようか?

(以下、自由創作)

◆주제: 집들이

A : 日本人 유학생 B : 韓国人 학생

- A: 안녕! 어서 와~ 오느라 고생했지?
- B: 아니야. 지하철역에서 가까워서 안 힘들었어~
- A: 다행이다! 길을 헤맬까 봐 걱정했거든.
- B: 짜잔! 집들이 선물이야. 자 받아.
- A: 고마워~ 한국은 집들이 선물로 휴지를 준다고 하더니 정말이네.
- B: 응. 선물하는 건 일본이랑 비슷한데 한국에서는 집들이 선물로 휴지나 세제 같은 걸 많이 해.
- A: 그렇구나.. 마침 필요했는데 잘 됐다~
- B: 필요했다니 다행이야!
- A: 그나저나 출출하지? 우리 얼른 밥 먹자~
- B: 와! 이걸 다 (A 이름)가 만든 거야? 정말 대단한데?
- A: 내가 또 한 요리하잖아~
- B: 진짜 맛있어! 지금까지 먹어본 (음식 이름) 중에 제일 맛있는데? 비결이 뭐야?
- A: 사실... (B 이름) 놀러 온다고 해서 며칠 전부터 계속 연습했거든.
- B: 집들이 두 번 했다가는 큰일 나겠다.
- A: 놀리지 마~ 그래도 맛있다고 하니 기분 좋다. 많이 먹어.

(식사 후)

B: 우리 이제 밥 다 먹었는데 뭐 할까?

(이하, 자유 창작)